

避難時間推計調査業務委託について

1 目的

現在の避難計画に基づき、様々な状況を想定した避難時間推計調査を行うことで、避難計画の実効性の向上を図る。

2 予算額

34,355千円（国庫：原子力災害対策事業費補助金）

※ 内訳 委託料：34,355千円

3 内容

(1) 推計の概要

県原子力安全・避難計画等防災専門委員会からの意見等を踏まえ、

- ① 現在の避難計画に基づいた、より現実的な想定での避難時間推計
- ② 避難計画等における課題の抽出及びその対策の検証を行い、避難計画の実効性の向上を図る。

<専門委員会の主な意見>

- ・ 安定ヨウ素剤の受取や避難退域時検査に関わる時間ロスや交通渋滞等の影響を考慮する必要はないのか。この点も含めてシミュレーション結果の妥当性について検討していただきたい。
- ・ 病弱な方にも問題なく避難できるよう、いろいろな方策による避難時間短縮の取組みを考えていただきたい。

(2) 調査対象範囲

P A Z 及び U P Z（原子力発電所から概ね半径30キロメートルの区域内）

(3) 平成25年度との主な違い

現在の避難計画に沿った、より具体性のある推計を実施するために、以下を考慮する。

- ・ 安定ヨウ素剤配布、避難退域時検査に要する時間
- ・ 避難所到達までの避難時間
- ・ 自家用車のみによる避難に加え、バス等による避難 等

4 推計結果の活用

避難時間等の推計や分析、検証により、避難計画の見直しや、要配慮者への避難時の配慮のあり方など、円滑に避難を行うための方策等を検討し、検討した対策を訓練において検証するとともに、避難に関する情報発信に活用するなど、避難計画の実効性を高めるための各種取組に活用したいと考えている。